

H16-18競技別サポート及び競技成績（スキー）

	主なサポート	競技成績
16	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体力測定</li> <li>○現場指導                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーナー派遣（2/20～25）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第54回インターハイ 男子リレー 8位 平高校 (鉢舘 長田 塚原 横田)</li> <li>・第60回国体 少年男子10km 9位 鉢舘孝輔 少年男子リレー 4位 富山県 (鉢舘 塚原 松川 長田)</li> <li>女子リレー 5位</li> <li>・JOCジュニアオリンピックスキー大会 高校男子10km 4位 鉢舘孝輔</li> <li>・全日本ジュニア 複合 優勝 山元 駿</li> </ul>
17	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体力測定</li> <li>○現場指導                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーニング（スキー・クロカン 5/28）</li> <li>・トレーナー派遣（2/17～22）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第55回インターハイ 男子15kmフリー 3位 鉢舘孝輔（平高校）</li> <li>・第43回全国中学スキー 男子リレー 9位 富山県 女子リレー 8位 富山県</li> <li>・第61回国体 少年男子10km 3位 鉢舘孝輔（平高校） 少年男子リレー 4位 富山県 (中谷 鉢舘 塚原 横田)</li> <li>女子リレー 6位 富山県</li> <li>・第18回全国選抜スキー大会 男子10km 優勝 鉢舘孝輔（平高校）</li> <li>・JOCジュニアオリンピックスキー大会 男子10kmフリー 優勝 鉢舘孝輔</li> <li>・高校総体 複合 4位 山元 駿</li> <li>・高校総体 大回転 優勝 水口 かおり</li> <li>・第61回国体 大回転 3位 水口 かおり</li> </ul> <p><b>*鉢舘 孝輔（全日本ジュニア強化選手）</b></p>
18	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体力測定</li> <li>○現場指導                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーニング（スキー・クロカン 5/28）</li> <li>・トレーニング (スキー・アルペン 10/28～29, 2/1～6)</li> <li>・スポーツ障害（スキー・クロカン 8/9）</li> <li>・動作分析（スキー・アルペン 11/15～17, 12/15～18, 1/12・14・16・19, 23・25 26, 2/4・6）</li> <li>・トレーナー派遣（2/17～22）</li> <li>・メンタル（1/13～14, 2/4～6）</li> </ul> </li> <li>○現場調査</li> <li>・とやまインターハイ（スキー 2/3～6）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第62回国体 少年男子リレー 5位 富山県 (中谷 塚原 松原 鉢舘)</li> <li>女子リレー 8位 富山県</li> <li>・高校総体 大回転 優勝 水口 かおり</li> <li>・国体 大回転 優勝 水口 かおり</li> <li>・全日本コンバインド選手権 少年組 優勝 山元 駿</li> </ul> <p><b>*水口 かおり（全日本ジュニア強化選手）</b> <b>*山元 駿（全日本ジュニア強化選手）</b></p>

P/N分析	
ポジティブ	ネガティブ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・18年度富山インターハイにおいての動作分析のサポートが非常に効果的だった。(アルペン)</li> <li>・実際のレースを撮影することが非常に有効。(アルペン)               <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 技術だけではなくレース戦略にも使えた</li> </ul> </li> <li>・大会前合宿から本大会まで継続してメンタルトレーニングと動作分析を実施することができ、大会に向けて各自が自分の課題に取り組んで実力を発揮できたのではないか。(アルペン)</li> <li>・クロスカントリー種目については年2回の筋力測定・呼吸循環器系測定が定着している。</li> <li>・トレーナー派遣も有効</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンバインドのジャンプ種目に動作分析ができればよかった。</li> </ul>

